

第1回北九州市 成長戦略会議

令和6年11月6日
北九州市産業経済局



第1部

令和6年度 産業振興施策の進捗状況




方策1 重点分野等の誘致促進・産業用地の創出等

Kitakyushu Action!

Mission **企業誘致加速化大作戦**


- 01** **新規** 産業用地をつくる

地域未来投資促進法の活用を想定した民間開発の募集を開始



- 02** **拡充** 投資環境の変化に対応する

企業立地促進補助金の上限額を引上げ (現行10億円 ⇒ 見直し後30~50億円)
- 03** **新設** 物の流れをつくる


半導体サプライチェーン構築事業補助金の新設


- 04** アテンションを高める

『北九州市企業誘致フォーラム in 東京 2024』の開催


- 05** **強化** 進出企業をサポートする

IT Scrum KitaQ機能強化





日本IBM 北九州市で拠点拡大

- リバーウォーク拠点開設、約350席の大規模オフィス
新たにAIを活用したBPO事業を開始
- さらに今年7月竣工したBIZIA KOKURA11～13階に入居
(リバーウォーク拠点と合わせて600席規模へ)



タカギ 新本社工場の竣工 ～北九州市から世界に発信～

- 北九州市内の2工場を集約して、新本社工場を建設
- 保育園やホテルの小川が併設され、働きやすさや環境にも配慮
- 積極的な工場見学の受入れなど地域に愛される工場を目指す



サンワマテリアルソリューションズ 資源循環ニーズに対応

- 三和油化工業とエア・ウォーター・マテリアルによる合併会社
- 輸入に依存する化学材料の国内循環が北九州市で開始
- シリコンアイランド九州全体の資源循環ニーズに対応
(投資予定額 約60億円、雇用創出20人)



新規

ベトナムの大学と連携した高度 IT 人材獲得事業を開始！

- 高度人材を必要とする IT企業の人手不足解消を支援するため、市内の人材開発会社 プラスアドグループとベトナムの IT 人材育成企業NiX Education JSC が連携
- ベトナムの5大学でITの専門知識と日本語をパッケージ化した教育プログラムを実施し、北九州市での就職に結びつける事業を開始

新設

KKJビジネスサポートセンター開設

- 海外企業の日本進出に伴う手続き等を、ワンストップで支援する窓口をCOMPASS小倉に開設 (英語対応可)
- 法人設立支援、ビジネス支援、実証支援等により、海外企業が北九州市で事業を開始しやすい体制を構築し、更なる対日投資を促進



方策
1

九州・西中国の物流ハブ形成

Kitakyushu
Action!

就航

北九州空港：国内貨物定期便の就航



- 令和6年4月、ヤマトHDと日本航空（JAL）共同による貨物専用機が北九州空港に就航
 - トラック運転手の時間外労働の上限規制が強化された「物流2024年問題」を受け、持続可能な物流モデルの構築を目指し、北九州空港が九州の物流拠点として、首都圏等とを結ぶ
- ※R6.4～4便/日、R6.8～6便/日、R6.10～8便/日
将来的に10便/日

拡大

北九州空港の物流拠点化（運航路線・機能強化）の拡大

大韓航空



UPS



- 九州・中四国で唯一の国際貨物定期便が就航
- 北九州⇄韓国・仁川線 3便/週（R1.11～）
- 北九州⇄中国・深圳線 5便/週（R5.2～）
- 滑走路3,000m化（令和9年8月末供用予定）
- 大型貨物機による北米・欧州長距離運航が可能

6

方策①

産業基盤の
ポテンシャル開花

方策②

学術研究都市の
知の活用とGX・
グリーン産業の推進

方策③

生産性向上と AI
新しい価値創造に
SG
DX
Robot
に向けたDX推進等

方策④

DE&I推進による
誰もが活躍できる
環境の整備

方策⑤

アテンションを集める
ブランディング

方策⑥

メガリージョンの
構築

7

<北九州学術研究都市への企業進出>



大陽日酸株式会社（半導体製造装置の研究開発）

- 「TNSCイノベーションセンターひびきの」を開設し、半導体関連装置の研究開発を推進
- 半導体関連装置の使用最適化をはじめ、西日本工業大学や九州工業大学などとの共同開発も実施予定



正興電機製作所（AI、ロボット、蓄電システム等の研究開発）

- 新事業、新製品の開発や、先端ものづくりを行う「ひびきの研究開発センター（仮称）」を開設する予定
(投資予定額 約41億円、雇用創出 約50人)
※段階的に現地採用・学生採用を予定
- 学術研究都市内の大学、進出企業、FAIS等と連携・協業して、AI、ロボット、蓄電システムなどを活用した最先端の製品を開発予定

北九州宇宙ビジネスネットワーク



北九州宇宙ビジネスネットワークの創設

- 宇宙に関する新たなビジネスや研究開発にチャレンジする仲間づくりのため、「北九州宇宙ビジネスネットワーク」を創設（74団体入会（R6.10現在））
- 宇宙ビジネスについて理解を深めるほか、会員間の交流やビジネスマッチングの機会創出を狙い、勉強会を開催（計4回開催、延べ約100名参加）

九州宇宙ビジネスキャラバン
2024北九州



新規

九州ビジネスキャラバン2024北九州の開催

- 九州・山口エリア全体で宇宙産業の機運を醸成する他、全国の宇宙関係者との交流促進や北九州市のポテンシャルを市内外へアピールするため、『九州宇宙ビジネスキャラバン2024北九州』を開催
- 堀江貴文氏、若田光一氏による基調講演や、宇宙ビジネスのキープレイヤーによるトークセッション、学生によるショートピッチなどを実施（現地450名、オンライン300名参加）



北九州GX推進コンソーシアムの取組

- カーボンニュートラルの動きを成長のチャンスと捉え、令和5年12月に「北九州GX推進コンソーシアム」を創設し、「最先端の研究開発・社会実装」、「GX関連産業集積」、「GX人材の育成」、「地域企業のGX支援」の4つの視点でGXを推進



会員
260社



これまでの成果

- 産学官金のプロジェクト創出を目指す次世代燃料、半導体等の部会、学研都市の脱炭素化を進める未来共創部会を設置
- GXによる成長を目指す企業の相談窓口を設け、GXの知識・技術を有する専門家による伴走支援を実施 (20件の相談対応)
- 企業のGXに向けた取組を後押しするため、CO2排出量可視化ツールを無償提供 (30社に提供)
- GXビジネスモデル変革・新ビジネス創出に向けて、GX推進補助金を創設 **新規**



響灘地区 (洋上風車の配置計画)
発電所名: 北九州響灘 洋上ウインドファーム (仮称)
総出力: 最大22万kW (≒9.6MW機×25基)

風力発電関連産業の総合拠点化

【総合拠点の役割】

- 風車の積出・建設拠点、物流拠点、製造産業拠点、O&M拠点の機能を備えた総合拠点の形成を目指す
- 総合拠点を基盤に、洋上風力関連のあらゆるサービスを日本国内、東アジアに向けて提供

➡ 日本国内のカーボンニュートラル実現を支え、地域経済の活性化・雇用創出を実現

【響灘洋上ウインドファームの誘致】

- 令和5年3月、ひびきウインドエナジー社が、響灘洋上ウインドファームの建設工事を開始
- 令和6年9月、同社は、国土交通省、北九州市と基地港湾 (積出・建設拠点) 使用のための賃貸借契約を締結し、風車の仮組み立て等の準備を開始 (令和7年度中の運転開始予定)



調査開始

響灘臨海エリアを中心とした水素拠点形成

- ▶ 響灘臨海エリアを中心とした鉄鋼・化学・発電等の脱炭素化が困難な産業の集積と豊富な水素等需要ポテンシャル
 - 2030年時点 約9万トン/年
 - 2040年時点 約70万トン/年

- ▶ 産官連携で水素等商用サプライチェーン構築実現可能性調査に着手

- 海外アンモニア輸入や再エネを活用したグリーン水素製造等の商用サプライチェーン構築の検討
- 水素等の輸入・揚陸、貯蔵、脱水素、国内輸送を備えたインフラの検討

< 実現可能性調査実施体制と検討内容 >

伊藤忠商事	海外アンモニア製造・供給 廃プラ由来水素製造・供給
ENEOS	グリーン水素製造・供給
オリックス	グリーン水素製造・供給
九州電力	海外アンモニア製造・供給、水素混焼発電
西部ガス	e-methane 製造、水素パイプライン
日本製鉄	アンモニア混焼発電
日本コークス工業	廃プラ由来水素製造・供給、 アンモニア貯蔵・アンモニアクラッキング
日鉄エンジニアリング	水素パイプライン、アンモニアパイプライン
三井住友信託銀行	グリーン水素製造・供給



多様な産業におけるカーボンニュートラル実現と国際競争力強化に貢献



ロボット・DX推進センター

- 専門家によるアドバイスや診断、人材育成、実践時の補助金制度など、切れ目のない伴走支援体制を構築し、ロボット導入・DX推進による生産性向上・事業変革を支援
(相談受付計410回、コーディネーター・専門家派遣1,495回)

新規

北九州DX推進大学

令和6年度 北九州DX推進大学

	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 経営者層のマインドセット ➢ 卸/小売の流通業、物流業のカリキュラム拡充
	<ul style="list-style-type: none"> ➢ DXを推進していく際に現場で旗振り役となる“DXリーダーの育成”
	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 社員のデジタルスキルの向上 ➢ Pythonの活用、データサイエンス基礎等

- DXの推進には、経営者・管理者層のマインドセット及び社員のデジタルスキルの向上が必要であるため、階層や業務内容別にDXスクールを創設
- これまで実施してきた北九州高専の経営者層向けのマインドセットに加え、早稲田大学では現場のDXリーダーの育成、北九大では社員のデジタル人材育成に向けた講座を提供
(受講企業の労働生産性は、他企業と比べて29%高い、受講企業の中から2社がDXセレクションを受賞)



新規

マーケットイン型の伴走支援

- 新分野への展開を図る中小製造業が取り組むマーケットイン型の開発を促進するため、専門家によるプレマーケティングや製品開発計画策定を支援 (3社採択)



新規

事業承継マッチングサイトの開設

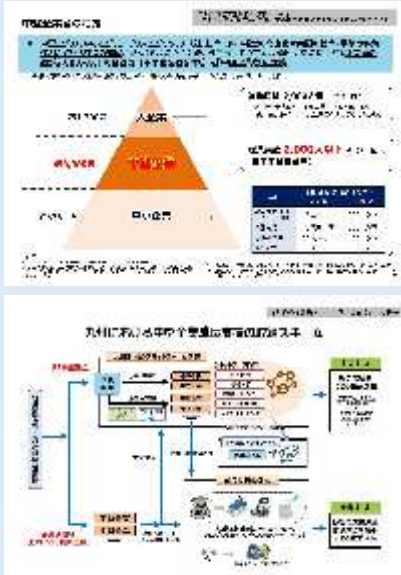
- 経営者の高齢化と後継者不在の地域課題を解決するため、事業承継マッチングサイトを開設。全国から後継ぎ希望者を募集し、地域活性化や転入者増を推進(5者掲載中)
- 「後世に残したい店」の市民アンケートを活用して、サイト掲載希望者を掘り起こし、事業承継を促進

新規

アトツギ(後継者・後継予定者)への伴走支援



- 事業承継を契機に、新事業展開など家業の存続・発展を目指す「アトツギ」への伴走支援を実施
- ネットワークづくり、新規事業・新商品開発、ピッチイベント出場に向けた支援などを実施 (10社採択)



◆ 国もR6年度を「中堅企業元年」と位置付け、成長支援を実施

新規

「未来を担う地域中核企業」成長促進プロジェクト

➢ 地域経済の牽引役となる、売上高、概ね30～500億円の市内企業を「地域中核企業」として位置付け、成長を支援（282社）

➢ 地域中核企業の成長・発展に向けた現状や課題等を把握するため、ヒアリング調査（21社）、アンケート調査（205社）を実施

【主な課題】

- 新規事業模索段階での取組に社内で予算がつきにくい
- 新規事業担当者間の情報交換の場がない
- 専門人材（企画、プロジェクト管理等）がない

➢ 今後は、ヒアリングやアンケート調査の結果を踏まえ、セミナーを開催予定（令和7年1～2月）

【テーマの例】

M&A、IPO、人材確保（外部人材活用等） 等



勉強会の様子

新規

商店街テナントリーシング

➢ 小倉都心部にある空き店舗を資産として位置づけ、小倉の価値を高めるための一つの手法としてテナントリーシングを実施

➢ 官民が連携して実行委員会を立ち上げ、話題性・集客力のある大規模テナントの誘致に取り組むとともに、他都市の先進事例、リノベーション事例などの勉強会を実施

新規

ジーユー 北九州市への初出店

➢ 若者に人気のファッションブランド「ジーユー」がセントシティにオープン

➢ ユニクロ、PLSTに続く、5階の『ジーユー』の出店により、セントシティは全3店舗のお買い物をワンストップで楽しめる複合商業施設へ





新規

スタートアップによる課題解決プロジェクト

- 市内スタートアップに特化した成長支援、行政課題の解決や市内企業との協業に対する支援制度を創設
- 令和6年8月に13社を採択し、今後1～2年間で実証フィールド調整や広報支援などの伴走支援、200～1,000万円/年の資金支援を実施（13社採択）

【採択スタートアップの取組内容（例）】



採択者	取組
株TriOrb	3つの球とモーターで構成されるシンプルな機構で、360度全方向に自由自在に移動できるプラットフォームの開発
株AiCAN	タブレットアプリの活用による児童虐待対応業務の効率化
株イー・スター・クオンタム × 株ゼンリン	量子コンピューティング技術で、物流業界における在庫管理や配送ルート最適化に取り組む
日本美容創生株 × 株マキシム	美容室で健康相談（アプリを使った問診）や毛髪によるホルモン検査を受けられるようにし、婦人科とも連携して、女性の更年期症状の早期治療に取り組む

方策① 産業基盤のポテンシャル開花

方策② 学術研究都市の知の活用とGX・グリーン産業の推進

方策③ 生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等

方策④ DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備

方策⑤ アテンションを集めるブランディング

方策⑥ メガリージョンの構築

やりたいけど、取り留めてないこと！こそ、プロ人材の活用！

地方副業・兼業マッチングプラットフォーム

99%
18社
97%
500社以上

45都道府県（371市町村）の中小企業3,000社以上が利用

新規

副業・兼業マッチング支援

- 人手不足が深刻化し、副業・兼業市場が活発になっていくことから、地方副業・兼業マッチングプラットフォームを活用したマッチング支援を実施
- 地域の中小企業が、必要な時にスポットで都市部などの高スキル人材（プロ人材）を活用
- 市内企業向けに、副業・兼業人材を活用するメリット、効果的な活用方法等を紹介するセミナー、就業者向けに必要なスキルやマッチング率を高める手法を紹介するセミナーを開催

- 企業向けセミナー
 - ①9月3日 16社参加
 - ②12月6日 20社程度参加予定
- 就業者向けセミナー
 - ①9月7日 22名参加
 - ②11月10日 20名程度参加予定

経営課題解決セミナー

人生100年時代
あなたのWill/Canを広げる
副業・兼業セミナー<初級>



新規

北九州創生プロジェクト「OFA」

- 市内中小企業の人材確保を支援するため、個社ではなくエリア（北九州）での採用・育成を行う北九州創生プロジェクト「OFA」を実施
- 企業の負担軽減を図り、地域の優良企業の若手社員や人事担当と交流できる学生向けのワークショップを開催し、若年層の地元就職・定着を促進
(ワークショップ：12回開催予定、学生48名・企業13社が参加予定)

新規

新入社員・企業合同研修会



- 新入社員の採用・育成における中小企業の負担を軽減するため、新入社員、経営層・人事担当者向けの合同研修会を開催
(研修会：8回開催予定、各会30～50名程度参加予定)
- 新入社員、経営層、人事担当者などのネットワーク形成、他企業との交流機会を創出することにより、若手人材の定着を促進



新規

女性の多様な働き方の支援

- 女性の多様な働き方の支援の一環として、在宅ワークの働き方や探し方、起業の始め方などを学ぶセミナーを開催

【各セミナー開催中（9月～11月）】

はじめのセミナー	計2回	112名申込(定員50人×2回)
在宅ワークセミナー	計3回	84名申込(定員50人)
起業セミナー	計5回	75名申込(定員50人)

新規

わたらしいワーク&ライフプラン

- 働き方で変わる生涯年収などの知識を得た上で、女性が主体的にキャリアを考え、働く意欲の向上を図るミニセミナーをウーマンワークカフェ北九州にて実施

【セミナー概要】

講師：ファイナンシャルプランナー
開催状況：8月1回、10月2回実施（12名参加）
11月に2回実施予定



新規

リスキングイノベーションプログラム

- リスキングによる成長機会を社内人材に提供し、企業の付加価値向上に繋げるため、リスキングや副業プラットフォームを運営するみらいワークスと連携協定を締結
- 北九州市に『リスキングキャンパス』を開設し、北九州市内企業に対して、社内人材のリスキングの重要性の啓発や、ビジネススキルなどの座学研修、座学で学んだ事をアウトプットする実践の場などを提供
- 企業のイノベーションを加速させることにより、従業員の所得向上や副業・パラレルワークの普及促進を図り、さらなる人材を呼び込む好循環を実現するリスキングシティを志向



方策
5

北九州市への関心を呼び覚ます広報・ブランディングの推進

Kitakyushu
Action!



新規

寿司&キャッスル

- 北九州への誘客促進を目的として「すしの都」というブランドの確立を目指し、他の都市では味わえない、北九州ならではの価値に焦点を当て、小倉城天守閣で寿司を提供
(令和6年5月~7月に毎月1回、計3回開催)

新規

すしの都 北九州協議会

- 北九州のすし文化発信、国内外からの交流人口拡大、「美食の街 北九州」としての地域経済効果の波及を目的に、市内すし店、交通・観光事業者など民間が主体となり、令和6年8月に「すしの都 北九州協議会」を設立
- 観光客向けすしセットクーポンの取組拡大、外国語メニューなどの導入サポート、すし文化に触れるガイドツアーなどを検討



新規

若松北海岸の観光開発

- 雄大な自然景観、新鮮な野菜や果物、魚介類に恵まれる若松北海岸エリアを観光地化するため、開発制限を一部緩和し、観光開発を促進
- 国道495号沿線から海側の区域において、**観光関連施設の開発を可能とするプロジェクトを開始**

【対象となる観光関連施設】

- ①地域の食を活用する施設
(レストラン、直売所、体験農園等)
- ②地域の景観を活用する施設
(ホテル、スパ、展望台等)
- ③地域の自然と直接触れ合う施設
(マリンレジャー・スポーツ施設)
- ④地域資源を活用した観光推進に伴う施設
(土産物店、カフェ)



拡充

福岡空港等からのインバウンド誘致

- コロナ禍以降、急速に回復しているインバウンドを取り込むため、九州・山口エリアの自治体と連携し、福岡空港から入国した外国人観光客の誘致を促進
- 誘客促進と観光消費額拡大のため**市内観光施設などで利用できるクーポンの配布するキャンペーンを実施予定**(令和7年1~2月)

新規

西のゴールデンルート

- 欧米豪からの旅行者などをターゲットに位置付け、大阪より西のエリアを対象に広域的な周遊ルート「西のゴールデンルート」として発信し、誘客を促進(45自治体)

2024年6月



バレーボールネーションズリーグ

エコフレンドリー
で大成功！！

2nd
FIG PARKOUR
WORLD CHAMPIONSHIPS



2024年11月
第2回FIGパルクール世界選手権・北九州

2024年8月

JAPAN RUGBY
CHALLENGE
SERIES2024



2024年10月
小倉城クリテリウム



2024年11月
WTTファイナルズ福岡2024

方策①

産業基盤の
ポテンシャル開花

方策②

学術研究都市の
知の活用とGX・
グリーン産業の推進

方策③

生産性向上と
新しい価値創造に
向けたDX推進等

方策④

DE&I推進による
誰もが活躍できる
環境の整備

方策⑤

アテンションを集める
ブランディング

方策⑥

メガリージョンの
構築



新規

JR西日本との連携協定

- コロナ禍を経て、国内・海外ともに観光客数が順調に回復する中、広域からの誘客を促進するために、JR西日本と連携協定を締結

【連携協定概要】

- ①新幹線を生かした広域誘客
 - ・新幹線を活用した「西のゴールデンルート」の推進
 - ・福岡空港利用者の北九州市への誘客
- ②「北九州市ならではの」魅力的なコンテンツの強化・情報発信
 - ・寿司など食の魅力の強化とその発信
 - ・スポーツイベント・コンサートなど集客力の高いイベントの誘致・開催
- ③MICE施設を活用した安心安全な旅のための環境整備
 - ・鉄道輸送障害等事案における帰宅困難者などのMICE施設の使用



分担

北九州空港：早朝・深夜便の運航

- 北九州空港は、九州・中四国で唯一の24時間利用空港
- 福岡空港では、利用時間に制限（7時～22時）
- 北九州空港において早朝・深夜便の運航を促進し、両空港で多様な航空需要を受け止め

【令和6年度の早朝・深夜便（22時～7時）の運航】 R6.10現在

- 国内旅客定期便
 - 北九州⇄羽田線 6便/日
 - (発 = 6:15・6:55、着 = 22:10・22:40・23:10・23:40)
- 国際旅客チャーター便
 - 19往復（北九州⇄韓国・務安）

補完

北九州空港：ダイバート（代替着陸）の受入れ

- 令和5年度にダイバート受入体制検討会議を県・市で主催
- 航空会社、バス・タクシー事業者、宿泊事業者、空港ターミナルビル、旅行会社と連携し、受入体制を整備
- 令和6年度も引き続き、ダイバート受入れを実施



質疑応答・意見交換

（各施策の進捗に係る質疑応答）

（今後の進め方に対する意見交換）